経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県佐賀市　佐賀市立富士大和温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	9	-	ド 透 訓	救 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**看護配置**	
233,418	8,392	第２種該当	１０：１	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	44	-
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
-	-	98
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
54	28	82

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　平成30年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

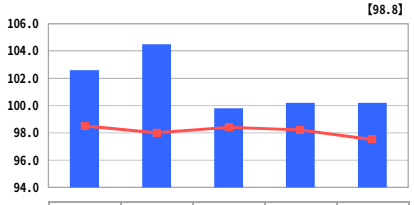
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

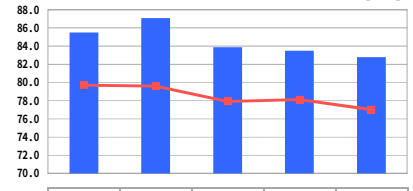
【98.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	102.6	104.5	99.8	100.2	100.2
平均値	98.5	98.0	98.4	98.2	97.5

②医業収支比率(%)

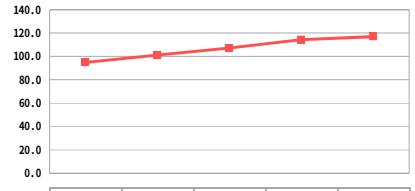
【89.7】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	85.5	87.1	83.9	83.5	82.8
平均値	79.7	79.6	77.9	78.1	77.0

③累積欠損金比率(%)

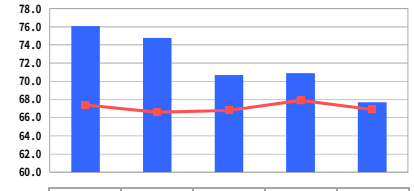
【64.1】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	94.9	101.2	107.2	114.4	117.0

④病床利用率(%)

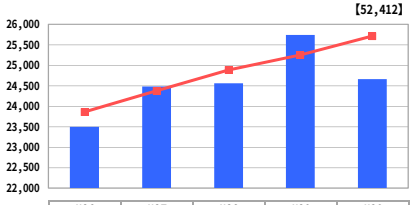
【74.9】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	76.1	74.8	70.7	70.9	67.7
平均値	67.4	66.6	66.8	67.9	66.9

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

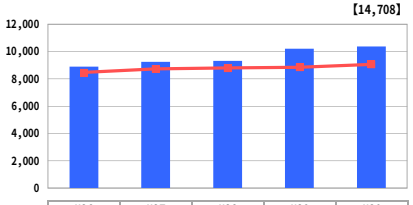
【52,412】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	23,500	24,486	24,559	25,745	24,664
平均値	23,857	24,371	24,882	25,249	25,711

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

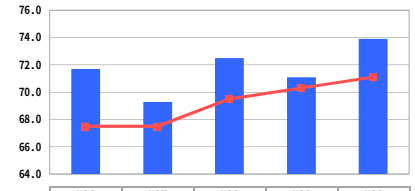
【14,708】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	8,912	9,243	9,321	10,211	10,381
平均値	8,471	8,736	8,797	8,852	9,060

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

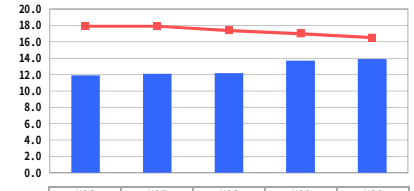
【54.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	71.7	69.3	72.5	71.1	73.9
平均値	67.5	67.5	69.5	70.3	71.1

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.3】

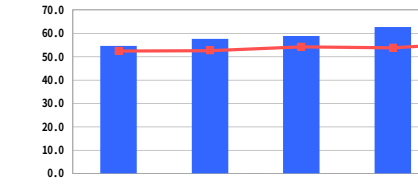


	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	11.9	12.1	12.2	13.7	13.9
平均値	17.9	17.9	17.4	17.0	16.5

2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

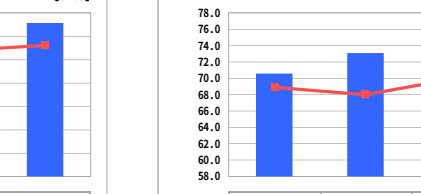
【52.5】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	54.6	57.6	58.9	62.7	65.7
平均値	52.4	52.6	54.2	53.8	56.1

②器械備品減価償却率(%)

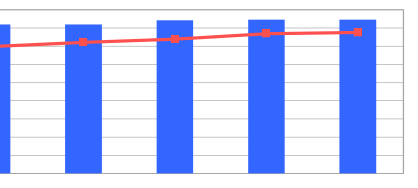
【68.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	70.6	73.1	64.4	69.9	75.3
平均値	68.9	68.0	70.0	71.0	73.2

③１床当たり有形固定資産(円)

【47,139,449】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	40,995,939	41,012,316	42,118,990	42,275,776	42,274,735
平均値	34,878,088	36,094,355	36,941,419	38,480,542	38,744,035

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ　地域において担っている役割

不採算地区である過疎地において医療を提供するとともに、救急告示病院及び病院群輪番制病院として近隣地域における休日・夜間等の救急医療の機能維持を担っている。

Ⅱ　分析欄

1．経営の健全性・効率性について

経常収支比率は直近５ヵ年において、平成２８年度のみ１００％以下となったが、それ以外の年度においては１００を超えており、常に類似病院平均以上を維持している。

しかし、病床利用率は低下傾向にあり、今後も過疎化に伴い減少が見込まれるため業務の効率化に努めたい。

2．老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は建物附属設備の減価償却進捗等に伴い類似病院平均より高い状態になっている。今後は、老朽化した資産に係る修繕費及び更新費の増加が想定されるため適切に対応し、計画的な更新に努めたい。

全体総括

経営の健全性を確保するための対策として、病床利用率が低下している医療療養病床については「佐賀市立富士大和温泉病院改革プラン」（平成３０年度～令和２年度）において機能改変を検討することとしている。